

J. Sights Corporation

リアルな現地(イスラエル編)

J サイト株式会社

齋藤俊

この度はイスラエルへ出張に行ってお参りました。弊社はイスラエル・トルコから果汁を輸入しており、サプライヤーと共に農場・工場視察を行いました。グレープフルーツ果汁やオレンジ果汁の製造はもちろん、過去に飲料業界を何度も悩ませた TAB の問題を抜本的に解決できるフレーバーの紹介等、目からうろこのことばかりでした。詳細は是非とも [お問い合わせ](#) ください。



本レポートでは果汁のことではなく、私が出張中にいただいたイスラエルの食事・お酒について紹介したいと思います。

まずイスラエルの食について語る上で外せないのは、なんといってもフムス。ひよこ豆をペーストにしたもので、パンにつけて食べる・軽食として食べる等イスラエルの食事に欠かせない一品です。なんにでも合う味で、お酒を飲んでいるときは口が寂しくなるとついつい食べてしまうお酒のお供にもなります。



J. Sights Corporation



非常に多くの野菜を食べる習慣があり、生野菜はもちろん、胡麻和えのようにした野菜やピクルスなど様々な方法で野菜を食べました。また、魚料理も非常に多く、毎日魚料理を何かしら食べられる程豊富な種類がありました。

続いてお酒について。お酒は、地ビールやワイン、ウィスキー、アラック(ブドウを原料にした蒸留酒を香辛料とともに再蒸留したお酒。水で割って飲むことが多く、香辛料のソースーした感じがたまらないお酒。)などをいただきました。



どれも非常に美味しかったです、アラックは独特な香りがするお酒であり、またイスラエルに行った際には是非飲みたいと思います。

日本へ帰国する前夜に地元民しかいないバーに連れてってもらい、お店で一緒になった人たちとたくさんお酒を飲んだのは非常にいい経験になりました。日本人がいることがかなり珍しかったということもあるようで、いろんな人が話しかけてくれお酒を飲みながら大騒ぎに。



J. Sights Corporation

お酒を飲んで話すと仲良くなるのは世界共通だと改めて感じました。飲みすぎた結果、次の日は飛行機に乗れないかと思うほどの二日酔いになったのもいい思い出です。



次回は南アフリカ・ナミビア出張となります。また現地でどのようなリアルな体験ができるか今から楽しみです。

